

第18回 ちゅうでん教育振興助成（平成30年度）

報告書資料 復興支援 — 11

学校名・団体名	大仙市立平和中学校
コース	学校支援
活動・研究のテーマ	絆をつなぎ「たくましく生きぬく力」をはぐくむ防災教育
<p>〈活動・研究の意義および活動報告〉</p> <p>1 実施計画に至るまでの経緯 本校生徒会は、「物の支援よりも心の支援を」を合い言葉に、平成24年度から岩手県大槌町吉里吉里地区で、「大槌・神岡交流グラウンドゴルフ大会」を開催してきた。昨年度は、第6回大会を開催するとともに、地域の鉄くず・古紙等の回収で得た収益金で、「復興祈念・交流夢花火大会」も開催し、被災された仮設住宅の方々への心の支援を行った。今年度も「第7回大槌・神岡交流グラウンドゴルフ大会」、「第5回復興祈念交流夢花火大会」を開催することで、岩手県大槌町吉里吉里地区の方々との交流継続を計画した。</p> <p>2 活動時期及び内容 (1) 対象者 全校生徒（99名） (2) 時期 平成30年7月～平成30年10月 (3) ねらい 「攻めの防災」・「守りの防災」により、たくましく生きぬく力、他を思いやる心、社会で役立つ力を育成する。 ・被災地の現状を知ること、ふるさとを見つめ直す機会とする。 ・被災地の方々との交流を通して、命・思いやり・人間の生き方等について考える機会とする。 ・避難所開設訓練の意識の向上につなげる。 ・個人と集団との関わり合いを大切に、集団の一員として活動できる能力を養う。</p> <p>3 活動の特色 ・攻めの防災 第7回大槌・神岡交流グラウンドゴルフ大会、第5回復興祈念交流夢花火大会、津波伝承館（岩手県大船渡市）での語り部体験、震災ボランティア（釜石市）による解説 ・守りの防災 地域の老人クラブ員とのグラウンドゴルフ交流、鉄くず回収、第5回避難所開設訓練</p> <p>被災地で開催するグラウンドゴルフ大会では、例年参加者が増加し、今年も70名ほどのお年寄りの方々が集まり交流を深めた。中には90歳を超える方もいらっしゃった。過去4回実施した花火大会は、今年も生徒の手で大会プログラムを掲載したチラシを仮設住宅等へ届け、吉里吉里地区の方々と共に鑑賞した。チラシを配りながら会話をすることで幅広い年齢層の方と交流する機会となっている。</p>	

また、ふるさと神岡のために大地震を想定した避難所開設訓練を実施し、被災地での体験学習をもとに、ふるさとを大切にする心情を醸成している。

4 活動時期および内容

・ 7月 3日 (火) **避難所開設訓練**

震度6の地震が発生したという想定で体育館に避難所を開設して避難者を受け入れ、地域の力となって活動する。

・ 7月 17日 (火) **生徒会執行部による被災地視察**

生徒会と被災地の方々(代表:大槌町公民館吉里吉里分館 分館長)とで今年度の取組について話し合う場を設定する。

花火大会に関しては、生徒会と被災地の方々とで実行委員会を組織し、企画運営する。

・ 8月 18日 (土) **花火大会に向けての鉄くず回収**

地域から鉄くずを回収し、生徒と保護者で花火大会の資金集めを行う。

・ 9月 6日 (木) **ちゅうでん協賛 第5回復興祈念・交流夢花火プロジェクト**

地域の花火師である(株)北日本花火興業、(株)和火屋の協力の下、被災地の大槌町吉里吉里漁港で花火大会を開催する。

生徒会でプログラムを組み、BGMを流したりアナウンスをしたりしながら、花火師との連携により花火を打ち上げる。また、生徒の考えた激励メッセージや被災された方からのメッセージをアナウンスすることで、被災された方々の心情に寄り添い、交流を深める。

・ 9月 7日 (金) **第7回大槌・神岡交流グラウンドゴルフ大会**

岩手県大槌町立吉里吉里学園中等部グラウンドにて、本校生徒と吉里吉里地区に住むお年寄りとでグラウンドゴルフを通じて交流を深める。

大会後は参加者全員で記念撮影を行い、記録として残している。

・ 10月 7日 (日) **平中祭**

大槌町吉里吉里地区の方々に、特産物を販売していただいたり、校内の展示やステージ発表を参観していただいたりして、ふるさと神岡や平和中学校のことを知っていただく。

5. 子どもたちへの効果

震災の記憶は風化の一途をたどっており、千年に一度と言われる震災を子どもたちにどうとらえさせるか、そのことによって子どもたちの心に何を残せるか、それが震災以降、続けてきた被災地交流の根底にあります。交流活動を通じて、生徒は、命・思いやり・人間の生き方等について思いを深めるとともに、自尊感情や自己有用感も高まっています。

鉄の下取り価格が下落し、資金調達が難しくなる中、古紙回収も併せて実施するとともに、貴団体の助成金を活用させていただくことで、第5回復興祈念・交流夢花火大会を継続させていただき、岩手県大槌町吉里吉里地区と秋田県大仙市神岡地区の交流の灯を消さずに、「絆をつないで」いくことができたと考えております。この絆が生徒一人一人のたくましく生きぬく力、また他を思いやる心、社会で役立つ力を育成することにつながると信じています。